

## 令和2年度 第1回日本生理学会教育委員会

日時 2020年7月10日（金）17時00分～19時30分  
会議形態 web会議システム  
出席者 南沢 享（東京慈恵会医大、委員長）、椎橋 実智男（埼玉医大、副委員長）  
安西 尚彦（千葉大）、石松 秀（西九州大）、江崎 誠治（大阪大谷大）、奥村 哲（静岡理工科大）、小野 富三人（大阪医大）、河合 佳子（東北医薬大）、曾我部 隆彰（生理研）、田中 美智子（宮崎県立看護大）、富永恵子（大阪大）、中島 昭（藤田医科大）、山口 豪（四国大）、渡邊 マキノ（順天堂大）  
鯉淵 典之（群馬大、用語委リエゾン）、佐藤 麻紀（愛知医大、認定委リエゾン）  
欠席者 下川 哲昭（高崎健康福祉大）  
議長 南沢 享 書記 渡邊マキノ

### 議題

#### 【報告事項】

1. 前回教育委員会議事録・エデュケーター認定制度委員会議事録について（資料1）  
資料に基づき承認された。
2. 理事会関連報告  
南沢委員長より下記事項について報告・提案があった。
  - 名古屋大会の実施方法（Web開催、ハイブリッド、on site）を検討中である。
  - 100周年記念事業委員会が組織された（丸中前理事長が委員長）。教育委員会として何かやるかどうか、いずれ議論が必要となる。
  - 評議員について、現在、いくつかの問題点（定款に定義されていない、評議員の高齢化、正会員の評議員の減少、評議員であることのメリットの少なさ等）があり、その改善策を検討している。評議員であることのメリットに関して、エデュケーター認定と関連付けられないかを教育委員会・エデュケーター認定制度委員会で議論して欲しいとの要望があった。今後、エデュケーター認定制度委員会を中心に検討することとなった。
3. エデュケーター制度認定委員会関連報告  
椎橋委員より下記事項について報告があった。
  - 今年度の新規申込、更新手続について事務局より通知は発信済み。
  - 認定のための評議員の推薦が必要な申請者の対応中。
  - 大分大会が誌上大会になったことからポイントが付かず、今年更新のエデュケーターについては1年猶予することになったが、既にポイントを満たしているエデュケーターは更新手続を取るよう通知した。

南沢委員長より申請が延期になるエデュケーターからの問合せ等の有無について質問があり、椎橋委員よ

り、現時点では特に大きな問題はないことが報告された。

#### 4. 日生誌の進捗状況について

河合委員より今後の候補についてのリストを前年度まで担当だった小山先生より引き継いでいるとの報告があった。

- ✓ カナダでの教育の違いなど（丸中先生）
- ✓ 基礎統合実習の報告（森田先生 or 中島先生）
- ✓ ベトナムでの教育について（鈴木敦子先生）
- ✓ コメディカルの生理学教育（黒澤美枝子先生）
- ✓ 新設医大での生理学教育（東北医薬大・河合先生）
- ✓ エducatorに原稿を公募する
- ✓ コロナ禍でのオンライン生理学授業やオンライン生理学実習について
- コロナ禍でのオンライン授業や生理学実習の原稿について、渡邊委員よりできるだけ早い時期に掲載するのはどうかと提案があり、検討した結果、オンライン講義については河合委員、オンライン実習については渡邊委員、総論を鯉淵委員が執筆することになった（入稿締切 9/1）。

#### 5. 用語集について

鯉淵先生（用語委員会・リエゾン）より第2次用語選定作業中であることが報告された。執筆者の選定が依頼され、選定された執筆者に対しては年末頃に丸善から執筆依頼が送られる予定であることが報告された。

#### 6. IUPS2021（北京）の延期について

南沢委員長より、IUPS2021（北京）が2022年5月7-11日に延期されたことが報告された。  
鯉淵先生より教育サテライトについては連絡が来ていないことが報告された。

#### 7. 第5回医学生生理学クイズ大会（東京医科歯科大学）の延期について

南沢委員長より、開催日未定で延期されたことが報告された。

### 【審議事項】

#### 1. 第98回大会・合同大会の教育プログラムについて

- 生理学会本体がWeb開催になった場合でも、教育プログラムを行うことが確認された。
- Web開催（ライブ配信）になった場合、どのようにポイントを加算するかについて検討した。
  - ✓ 南沢委員長よりオンデマンドでの実施の可能性について質問され、椎橋委員より現況ではオンデマンドによる教育プログラムの実施は消極的であり、ライブ配信を前提に検討したいとの回答があった。
  - ✓ 椎橋委員より、Zoomで実施の場合、500名くらいまでの実施ができるように契約が必要。参加者名を【会員番号+氏名】で表示してもらえれば、チェックは可能であるとの意見が出された。会員番号を表示する場合、解剖学会会員にも生理学会会員の個人情報（会員番号）が見え

てしまうので、事前の承諾が必要になるのではないかとの考えも示された。

- ✓ ライブ配信による参加者（特にエデュケーターポイントの加算対象者）の確認方法について議論された。
  - ✓ 鯉淵委員より、生理学会事務局（IMIC）やコンベンションサービスの会社は様々なノウハウを持っていると思われるので、確認したほうが良いことが提案された。この件に関して、椎橋委員より IMIC に確認することが提案された。
  - 南沢委員長より、解剖学会の教育委員会より『水平統合』をキーワードにしたプログラムが提案されていることが報告され、教育プログラムの 1 枠を『水平統合』とすることが了承された。
    - ✓ 演者として生理学会、解剖学会からそれぞれ 2 名推薦することを解剖学会に提案することが確認された。
    - ✓ 鯉淵委員より、『水平統合』のセッションの演者については安西委員が推薦され、安西委員が担当することとなった。
  - 南沢委員長より、生理学会からは教育講演 1 枠およびモデル講義 1 枠を解剖学会に提案することが報告され、了承された。
  - 南沢委員長より、シニア制度に向けたワークショップの開催の可否について質問があった。
    - ✓ 鯉淵委員、椎橋委員からは Zoom を、中島委員からは Teams を利用したワークショップが開催可能であるとの回答があった。
    - ✓ ワークショップは、生理学会限定のワークショップとして開催することが確認された。
    - ✓ ワークショップの内容は大分大会で実施予定だった内容を、椎橋委員を中心に検討することが確認された。
  - 南沢委員長より、残りの教育講演の内容は中止になった大分大会のプログラムから選定することが提案され、了承された。今後は教育プログラム担当の石松委員、安西委員、渡邊委員が解剖学会とのすり合わせを行い、調整することが確認された。
2. コロナウイルス感染症下における生理学教育に関するアンケート調査について
- 南沢委員長、安西委員より、薬理学会との合同調査（『COVID-19 に対する各大学の対応と生理学・薬理学教育への影響に関する合同調査』）についての説明があった。
  - 生理学会教育委員会としてはアンケート調査を行うことは賛成であり、できれば薬理学会と合同で行うことがベストであり、南沢委員長から赤羽先生（東邦大・生理および薬理学会の副理事）に相談のうえ、薬理学会理事会に合同調査の可否を諮ってもらうことになった。

### 3. 次回教育委員会の開催について

次回理事会（12月20日予定）の前に Web 開催で実施予定。日時は後日決定（11月頃）する。

#### 【自由討議】

##### 1. コロナ禍における各大学の対応等についての情報交換

- 各委員が所属する大学・学部での講義・実習の実施状況、感染対策等の情報を交換した。